

CSR報告書2011

トヨタ部品茨城共販株式会社

◆目次

目次／会社概要

CSR方針／環境方針／推進体制 1P

トップインタビュー 2-3P

2010年度の活動

主な活動 4P

トピックス 5P

環境目的目標の達成状況 6P

環境月間の取組み 7P

社会貢献活動 8-9P

2005年からの環境保全活動と成果

省資源・省エネルギー 10P

廃棄物発生抑制 11-12P

主なエコ商品の販売 13P

CO2削減効果 13P

◆発行年月

2011年7月

◆報告対象期間

2010年度(2010年4月～2011年3月)を対象としていますが、一部、2010年度以前及び2011年度以降の活動についても掲載しています

会社ビジョン

社会において存在感があり 社員が誇れる会社

会社理念

1. 正直でお客様に信頼されること
1. 地域社会に貢献すること
1. 明るく働きがいのある職場をつくること

社訓

1. 良心はすべての基礎である
2. なにごとも誠意をもって努力する
3. つねに研究を怠らず、新しい創意工夫をする
4. 仕事に精通すると共に、立派な社会人であること

会社概要

社名	トヨタ部品茨城共販株式会社
設立	1981年8月25日(1982年3月1日創業)
本社	〒311-3157 茨城県東茨城郡茨城町小幡702-1
営業拠点	本社、水戸、日立、土浦、下館、鹿嶋、藤代、三和、水海道、勝田、auショップ下妻
資本金	1億円
売上高	158億円〔2010年度実績〕
従業員数	195名〔2011年4月1日現在〕
事業内容	自動車部品・用品・砥油・中古部品等販売、損害保険業務、移動通信機器の販売
株主	トヨタ自動車(株)、県内各トヨタ販売店



◆CSR方針

CSR宣言

私たちは、その事業活動を通じて、地域社会から将来に亘り信頼され、共に発展することを目指し、お客様第一主義に徹した優れた商品とサービスを提供するとともに、「企業の社会的責任」を果たすため、次の3項目を実践することを、ここに宣言いたします

コンプライアンス

法令の遵守をはじめ、正直で公正、公平で正しい行動を最優先とします

環境

未来に向けて、地球環境の保全に努めます

社会貢献

良き企業市民として、社会に貢献するとともに、すべての社員が誇りに思える企業となることを目指します

CSR基本方針

私たちは、法およびその精神を遵守し、正直な企業活動を通じて、地域社会に信頼される企業をめざし、以下4つのステークホルダー(利害関係者)のニーズを満たし、満足度を高めるべく事業活動を行い、地球環境、地域社会の持続可能な発展に貢献します

お客様

- ◆私たちは、「お客様第一主義」という信念に基づき、お客様が安全・安心にカーライフを送れるために、かつ、お客様のカーライフを豊かにするために、お客様に真に満足いただける優れた商品とサービスの提供に努めます
- ◆私たちは、「トヨタ販売店CSRガイドライン」等およびその精神を遵守するとともに「正直」を経営の基本として、お客様に信頼される企業活動を推進いたします
- ◆私たちは、「個人情報保護法」および、その精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます

社会

- ◆私たちは、環境に配慮した企業活動を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、地域社会に信頼される企業をめざして、環境保全、改善の継続的な取り組みに努めます
- ◆私たちは、何よりも人を大切に考え、法令をはじめとする社会のルールを守ります
- ◆私たちは、地域社会との対話や交流を積極的にを行い、信頼の獲得に努めます
- ◆私たちは、トヨタグループの一員として、交通安全対策に積極的に取り組みます

取引先

- ◆私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます
- ◆私たちは、独占禁止法をはじめとする関連法令および、その精神を遵守し公正かつ自由な取引を行います
- ◆私たちは、お客様や取引先などに対する贈答や接待については、受ける場合、行う場合とも良識の範囲内にとどめます

社員

- ◆私たちは、労働関連法令の遵守はもとより、社員が生き生きと働けるように相互信頼、相互責任の精神に則り、互いを思いやりそれぞれの考え方や立場を尊重します
- ◆私たちは、社員が誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう個々の自己啓発・成長を支援します
- ◆私たちは、社員一人ひとりが能力を向上し発揮できるよう、安全で働きやすい職場環境を整備します
- ◆私たちは、当社の機密情報を適正に管理するとともに、会社の許可なく第三者に開示したり、業務以外の目的で私的に使用しません

◆環境方針

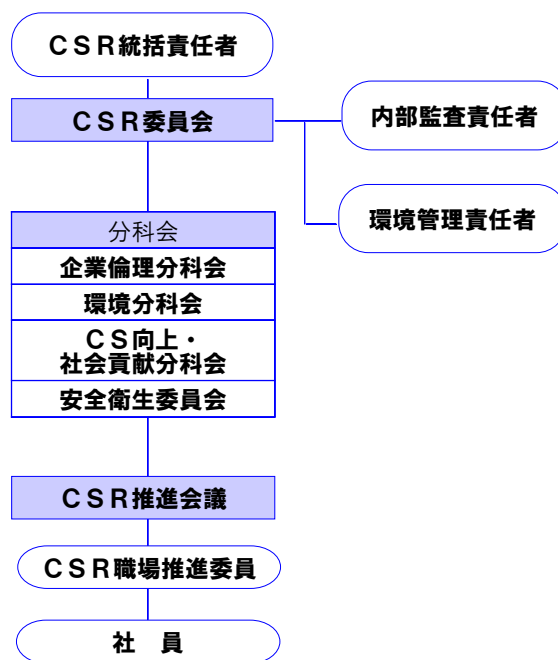
基本理念

私たちが立地している茨城の四季折々、豊かな自然に恵まれた環境を、かけがえのない財産と認識し、環境に配慮した企業活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ、「地域社会に信頼される企業」をめざし、環境保全・改善の継続的な取り組みに努めることを宣言します

基本方針

1. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境目的・目標を定めて、全社を挙げて継続的な改善活動に取り組む
2. 環境に関する法規制、ならびに「トヨタ共販店環境ガイドライン」等を遵守する
3. 事業活動の全領域において、省資源、省エネルギー、リサイクルの適正処理、グリーン購入の推進と廃棄物の削減等、環境汚染の予防に努める
4. 全従業員が環境管理活動方針を理解し、本方針に則した活動が行えるよう、計画的な環境教育の実施と啓蒙を図る
5. 環境監査を定期的に実施して、環境管理の維持・向上を図る
6. 地域社会との調和を大切にし、地域の環境保全活動に協力する
7. 環境方針は社内にて周知徹底すると共に、社外に対し情報を提示し、求めに応じて渡す

◆推進体制



「乗り越えよう 一致団結 明るく元気に前向きに！」

3月11日の東日本大震災の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災により茨城県も地震と津波により、被害は県内全域に及びました。特に県北地域を中心として津波による被害が大きく、震災後約4.8千人が避難、死者24名。家屋全壊約2千棟、半壊約15千棟、一部損壊約132千棟という被害状況です。

当社におきましては、幸い人的被害はなく建物についても軽微な損壊等に止まりました。しかしながら、震災後停電、断水、また燃料不足等により、通常業務を維持することが困難な状況となりました。

震災直後に緊急対策本部を設置し、燃料不足への対応として社員の乗り合わせ出勤、及び1/2交代勤務を実施。また配送業務に関しては、2便から1便体制に縮小して業務を継続しました。

そのような状況下、トヨタ自動車(株)、(株)タクティーはじめ関係各位より救援物資等温かいご支援を賜り、おかげさまで、数日間の業務縮小を経て、3月22日より通常営業を再開することができました。この場をお借りして、ご支援くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

震災の影響もほぼ収束し、気持ちを切り替え、スローガン「乗り越えよう 一致団結 明るく元気に前向きに！」を掲げ、新たなスタートを切ったところです。

電力使用量前年比70%にチャレンジ！

しかしながら、震災に関連して、今だ原発問題では出口が見えない状況であります。特に、東京・東北電力管内の今夏の電力供給が極めて厳しい状況が想定されます。そのような中、私たちが今すぐ取り組むべきことのひとつが「節電」です。

電力使用量を前年の30%削減・前年比70%と目標を設定し、全社員で取り組んでまいります。具体的には、ACの使用ルールの見直し、照明器具に個別スイッチ紐の取付け（不使用エリアの消灯）、蛍光灯の間引き、パソコンでは省電力モードでの使用や、2時間以上の離席時の電源オフ、退社時には、OA機器を含めてコンセントを抜く等の取り組みを行っています。

また、遮熱対策として、物流倉庫屋根には特殊セラミック塗装による断熱加工を施工。朝顔・ゴーヤによるグリーンカーテンの拡大も実施してまいります。

そして何より、社員一人ひとりの意識が大切です。社員の家庭でも前年15%の削減を目標に節電取り組みを推進してまいります。

社員一人ひとりが少しずつ節電の努力をすることが、被災地の復興と安定した電力供給につながるものと信じております。

2011年 節電の取組み

実施事項	
エアコン	◆使用ルール見直し（オン・オフルールの明確化）
照 明	◆不使用エリアの消灯（蛍光灯個別スイッチ（紐）取付によるこまめな消灯）
	◆広告塔の電源オフ
	◆木・土曜はノー残業デー
パソコン	◆省エネ設定で使用
	◆長時間（2時間以上）の離席時は電源オフ
	◆退社時コンセントを抜く
	◆私用でのインターネット禁止（含む昼休み）
トイレ	◆便座・ジェットタオルの電源オフ
物的対策	
照 明	◆蛍光灯間引き 全社33%（うち事務所51%）
エアコン	◆グリーンカーテンの拡大
	◆本社倉庫屋根に断熱セラミック塗装
	◆全社に扇風機導入

2006年6月にCSR宣言を発信して丸5年が経過し、社内にCSR精神が浸透してきていることを感じております。では、この一年間の取組みを振り返ってみたいと思います。

環境保全活動

ISO14001を認証取得して7年が経過、全社での環境活動の継続的改善も定着してまいりました。

CO2排出削減については、社用車のハイブリッドカーの増車（合計14台）、省エネ照明器具の切り替え等の投資を行いました。結果的に前年比105%の排出になってしまいました。しかし、5年前から見ますと230t・20%の削減がなされております。

今年度は節電の取組みを積極的に行い、大幅なCO2削減を図ってまいります。

3R(リデュース・リユース・リサイクル)

使用済み部品の適正回収においては、積極的に推進しております使用済バンパー回収で、取り組みの成果が少しずつ現われ始めています。今後、販売店・部品商・修理工場様と一体となり取り組みを強化してまいります。

物流面ではHHT(査証システム)導入による配送ミスゼロ化、エンジンオイル200ℓドラムの非在庫運用による在庫ゼロ化の推進、バルクオイルの促進により、「廃棄物を出さない」「ムダの削除」「業務効率」に向けて、更に前進した一年でした。

社会貢献活動の推進

当社はおかげさまで今年3月1日に創立30周年を迎えることが出来ました。

創立30周年行事の一環として、社会貢献活動についてはエコキャップ回収24万個(300人分のワクチン)の目標を掲げ取り組んでまいりました。社員・家庭はもちろん販売店・部品商・修理工場をはじめ関係各位へ広く活動の輪を広げていこうと積極的に活動してきました。その結果、28.2万個(352人分のワクチン)と大きな成果を上げることが出来ました。その節目の年に社員に止まらず、社外の方々にも一緒に取り組んでいただき、社会貢献の輪が広がったと大変ありがたく感じている次第であります。あらためて支援活動へのご協力に対し、御礼・感謝申し上げます。



代表取締役社長

近藤 芳彦

2010年度の活動

主な活動

■環境

CO2排出削減活動を中心とした各活動とも、全社を挙げて取り組んでおり、日常業務に環境保全活動が定着しています。
また、2004年に認証取得し、8年目を迎えた環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001審査に2月に合格。継続的改善が認められています。

■社会貢献

各活動とも更に活性化。特にエコキャップ回収(詳細右記)や献血(詳細P8)では、成果が数字となって表れており、社員のやりがいにつながっています。

年月	環境	社会貢献
通年	<ul style="list-style-type: none"> ■省エネ・省資源、廃棄物発生抑制 ■エコ商品の販売 ■廃食用油回収活動 ■リサイクル品の回収 ■環境関連法令の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ■会社周辺清掃ボランティア ■防犯活動(安全安心まちづくり運動) ■ペットボトルキャップ回収活動 ■AED設置
2010年		
4月		
5月		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■環境月間 6/21 夏至ライトダウン 	<ul style="list-style-type: none"> 6/3 茨城町「関東地方環境美化行動の日」参加 6/29 VSP花壇植栽
7月	<ul style="list-style-type: none"> 7/7 セタライトダウン 	<ul style="list-style-type: none"> 7/29・30 中学生職場体験学習受け入れ(三和営業所)
8月		<ul style="list-style-type: none"> 8/3 献血 8/7 「千波湖花火大会」清掃ボランティア
9月		<ul style="list-style-type: none"> 「タイ・ラオスへ救援衣料を送る運動」参加
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■内部環境監査 	<ul style="list-style-type: none"> 10/3 「土浦花火大会」清掃ボランティア
11月		<ul style="list-style-type: none"> 11/4 パキスタン洪水災害救援金募金
12月		<ul style="list-style-type: none"> 12/2 茨城町「散乱空缶等回収町民運動」清掃ボランティア 12/2 VSP花壇植栽
2011年		
1月		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ISO14001更新審査合格 	<ul style="list-style-type: none"> 2/4 献血
3月		

トピックス

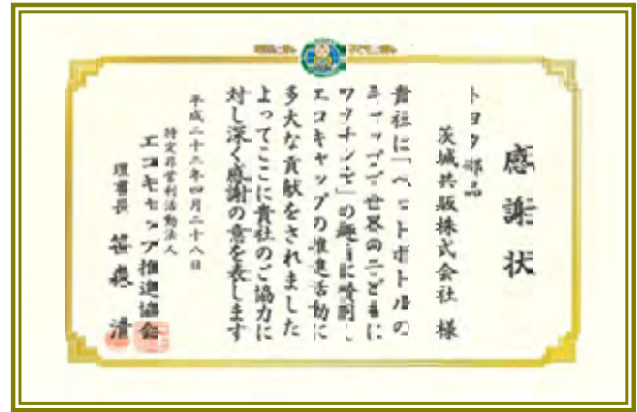
お客様と共に回収した28.2万個（ポリオワクチン350人相当）のキャップをエコキャップ推進協議会へ寄贈しました！

2009年4月よりエコキャップ回収活動をスタート。社員とその家族により初年度年間で5.8万個を回収しました。

活動2年目の2010年度は「回収の輪を広げよう！」と、友人・知人、お客様へ『キャップを集めて、恵まれない国の子供たちにワクチンを送る活動しよう！』とお声かけしてまいりました。その結果、多くの皆様にご賛同いただき、予想を大きく上回る数のキャップが集まりました。2010年4月から2011年3月までの1年間で、28.2万個。ポリオワクチンにして約352人分の数量です。

この4月までに、回収業者の高浪化学㈱を通じ、エコキャップ推進協議会へ寄贈いたしました。そして、この活動に対し、同協議会より感謝状を授与しております。

今後もお客様と一緒に活動を続けてまいります。



西自動車部品販売さんに積極的に活動していただいています！

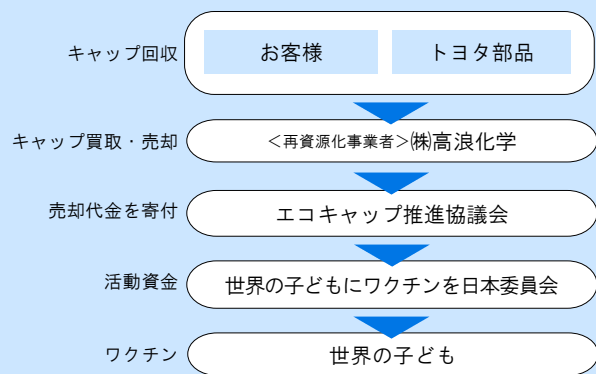


当社の2009年活動開始時より、積極的に回収活動を展開され、回収したキャップを当社の三和営業所へ届けてくださいます。

西川社長談
「私たちも、一日100個を目標に回収活動をしているんですよ！」

なお、共に活動しているお客様は下記の通りです。

～世界の子供たちにワクチンが届くまで～



茨城県内トヨタ販売店様

茨城トヨタ自動車㈱
北茨城店
高萩店
日立店
日立北店
牛堀店
藤代店
竜ヶ崎センター
東海センター
茨城トヨペット㈱
小川野田店
大宮バイパス店
土浦荒川沖店
トヨタカローラ南茨城㈱
荒川沖店
つくば店
神栖太田店
竜ヶ崎店
坂東店
守谷店

ネットトヨタ茨城㈱
マイネ荒川沖
マイネ学園
マイネ土浦
マイネ滑川
マイネ下妻
ネットトヨタつくば㈱
つくば店
水海道店

関係各社様

㈱JTB関東
法人営業水戸支店
㈱アベックス
あやべ内科医院
阿部自動車工業
伊佐山オートパーツ商事㈱
㈱井関モーターズ
㈱伊藤自動車
茨城県自動車学校

上野自動車工業
蛭原自動車工業
小沢石油店
小名浜オーシャンホテル
㈱ガレージオノ
河和田ゴルフ練習場
菊地輪業
クラモチオート
コバック神栖店
古河ヤクルト販売㈱
土浦支店
古河ヤクルト販売㈱
三和センター
㈱サンアロー
㈱佐々木自動車
ジェームス土浦南店
ジャパンビバレッジ
塩野谷自動車商会
㈱常南部品商会
㈱常陽モーターズ
㈱鈴木モーターズ高萩

鈴和自動車
㈱タカギ部品商会
大子広域公園
㈱つくばオートサービス
㈱ツカサ商会
㈱同商事イワイ
㈱筑波商事
㈱椿自動車
㈱坪井自動車
㈱坪井商店
㈱デンソー
㈱東洋プレーキ商会
ひたちなか営業所
登坂モーターズ
取手競輪選手会
㈱ナオイオート下館店
ナカタオートボディー
ナメカワオート
㈱中田バイパス自動車
㈱長山自動車整備工場
成山自動車板金塗装工場

㈱西自動車部品販売
ハタヤ物流㈱
ファクトリーナガツカ
㈱福岡自動車
㈱布施モーターズ
藤枝自動車工場
芙蓉商事㈱
弁天自動車工場
㈱北部自動車サービス
まるや商店
「みがわ」ボランティア
水戸ヤクルト販売㈱
勝田中央センター
㈱水戸京成百貨店
宮内石油
㈱山新商事
㈱吉沢自動車
ルネサンスSC
ワイズツーリスト
和興自動車㈱
(敬称略、50音順)

2010年度の活動

環境目的目標の達成状況

■省エネ・省資源

特に電力使用量の削減では、室温(夏28℃・冬22℃)管理、不要照明の消灯、NO残業DAYの推進等に積極的に取り組んでまいりましたが、昨夏の猛暑の影響で目標は未達成。

■リサイクル品回収促進

目標は下回るものの、お客様の協力度は年々上昇傾向。

■ムダの削除

独自の取組みにより、作業効率が向上しています。

■エコ商品の販売

推販企画と環境意識の高まりが相まって、順調に販売を伸ばしており、環境配慮商品比率も向上。

評価基準 ○:目標達成 △:目標未達成・前年超え ×:何れも未達成

項目	単位	目標	実績	達成率	評価	
■省エネ・省資源						
電力使用量						
全社	kwh	589,700	649,919	91	×	
本社	kwh	395,900	430,476	92	×	
営業所	kwh	193,600	219,443	88	×	
社用車のエコドライブ推進						
軽油	km/ℓ	12.7	12.2	96	×	
ガソリン	km/ℓ	14.3	13.9	97	×	
軽油(配送車)	km/ℓ	6.9	6.7	97	×	
■リサイクル品回収促進						
バンパー回収率向上						
販売店	%	90	74.8	83	△	
修理工場	%	95	89.2	94	△	
部品商	%	60	28.3	47	△	
携帯電話回収率向上	%	50	32.8	66	×	
■ムダの削除						
返品削減	%	1.4	1.4	100	○	
当方ミス返品削減	%	0.10	0.10	100	○	
出荷ミス削減	百万分比	40.00	19.30	207	○	
損傷品削減	百万分比	7.00	6.20	113	○	
■エコ商品の販売						
省燃費オイル(比率)	販売店	%	35.0	40.0	114	○
省燃費タイヤ	販売店	本	20,460	21,079	103	○
グリーンタイプCAF						
販売店	個	104,730	105,658	101	○	
修理工場	個	10,720	11,093	103	○	
E-LLCの拡販	修理工場	リットル	8,500	8,010	94	△

環境月間の取組み

期間:2010年6月

■電気使用量削減

- ①リフレッシュデー(毎週木・土曜日)の徹底
- ②電気メーター計測による日当たり使用量監視

・時間外勤務時間(1人当り) 14.3H(5月) ⇒ 10.3H(6月)
・6月電力使用量(セクション別)
前年以下 8セクション
前年オーバー 4セクション

■エコドライブの推進(対象:社用車、自家用車)

- ①エコドライブ啓発
・パンフレット配布(エコ10ドライブ)
・社内勉強会(CSR職場推進委員を講師として部署単位で実施)
・自己チェック(チェックシートを用いたエコ度診断)
- ②タイヤ空気圧点検
・全社一斉に、社員通勤車のタイヤ空気圧点検を実施

燃費計測結果(5月⇒6月) 単位:km/ℓ
社用車(ディーゼル車) 12.6 ⇒ 12.7
社用車(ガソリン車) 14.0 ⇒ 11.3 …社用車代替により低下
自家用車 12.28 ⇒ 12.84
※自家用車では7割の社員が燃費向上



■ライトダウンキャンペーン参加

(6/21夏至ライトダウン・7/7七夕ライトダウン 20~22時の消灯)

- ①会社での取組み(19時までに完全業務終了、消灯)
- ②社員の家庭での取組み(20~22時消灯、各家庭で任意で取組み)

会社:両日とも19時に完全消灯
家庭:6/21⇒101家庭(50%)・7/7⇒113家庭(56%)がライトダウンを実施

■その他

- ①クールビズ
・6-9月期間、室温28℃
- ②グリーンカーテン
・本社厚生施設へ琉球朝顔のカーテン



琉球朝顔がたくさんの花を咲かせ、室内に清涼感を与えてくれました



2010年度の活動

社会貢献活動

清掃ボランティア

■会社周辺清掃ボランティア
各事業所ごとに毎週木曜日に会社周辺の清掃作業を実施。

■地域の清掃ボランティア活動への参加

名称	実施日	参加人数
関東地方環境美化行動の日	6月3日	67名
千波湖花火大会清掃	8月7日	65名
土浦花火競技大会清掃	10月3日	38名
茨城町散乱空缶等回収町民運動	12月2日	65名



(千波湖清掃)

■ボランティアサポートプログラム

本社で茨城町小幡6号国道約1.5km区間の歩道を、毎週木曜日にゴミ拾い・除草作業を実施。また、年に2回植樹帯の花壇へ草花を植栽。



(2008年、国土交通省・茨城町・当社 三者協力の清掃活動協定を締結)



(ボランティアサポートプログラムでの花壇への植栽)

献血

2009年7月献血サポーターに登録。「一人年一回の献血」を推進しています。

2010年度は、「100人献血」を目標に掲げ取り組んでまいりました。その結果、年間で延べ104名が献血を実施しました。

また、日本赤十字社茨城県赤十字血液センター様にご協力いただき、管理職社員を対象に「献血セミナー」を開催。献血への理解を深めています。



(本社での献血)



区分		献血人数
訪問献血バス (本社)	8月3日	36名
	2月4日	31名
巡回献血バス		34名
献血ルーム		3名
合計		104名



(血液センターによるセミナー)

防犯活動

茨城県警察本部と茨城県経営者協会協力により推進する「安全安心なまちづくり運動」に参加しています。

社用車への防犯ステッカーの貼付、社屋へポスターの掲示をしています。また、トラブル発生時には警察への通報を行います。

社会貢献活動

中学生職場体験学習

地域の学校の要望に応じ、職場体験学習の場を提供しています。

2010年度は、古河市立三和東中学校の男子2名が三和営業所で体験学習を行いました。

実施日	学校名	人数	受入れ事業所
7月29～30日	三和東中学校	男子2名	三和営業所

<体験学習内容>

日	時間	内容
7/29	9:00～	朝礼(自己紹介)
	9:15～	会社概要説明 ビデオ鑑賞
	10:35～	現場作業 ・倉庫案内 ・アイテムチェック ・出庫作業
	12:00～	休憩
	13:30～	現場作業 ・荷降ろし、仕分け ・アイテムチェック ・ロケメンテ
	15:00	終了
7/30	9:00～	朝礼
	9:30～	現場作業 ・荷降ろし、仕分け ・ロケメンテ ・出庫作業
	12:00～	休憩
	13:30～	現場作業 ・荷降ろし、仕分け ・アイテムチェック
	15:00	解散



(入庫品チェック)



(ロケメンテナンス)



(部品の荷降ろし)

災害時義援金・救援金募金活動

国内外で災害が発生、日本赤十字社に募金窓口が設置された場合、社内で募金活動を行います。社員から寄せられた募金は、日本赤十字社茨城県支部へ寄託します。

2010年7月から記録的な大雨に見舞われたパキスタンで大洪水が発生。これを受けて、社内で募金活動を行いました。

実施月	災害名	寄託先	金額
11月	パキスタン洪水	日本赤十字社	10万円



衣料援助ボランティア

2007年より「タイ・ラオスへ救援衣料を送る運動」へ参加しています。毎回多くの衣料品が社員の家庭より寄せられます。

実施月	活動名	寄託先	寄託枚数
9月	タイ・ラオスへ救援衣料を送る運動	連合茨城	951枚



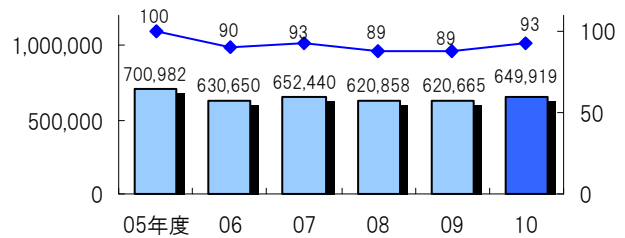
電気使用量

取組み

- ・クールビズ
- ・リフレッシュデー(No残業day)の推進(木・土曜日)
- ・AC温度管理の徹底(夏期28℃・冬期22℃)
- ・こまめな消灯
- ・窓ガラスへ遮光フィルム貼付(本社事務所)
- ・省エネタイプ照明器具の導入

実績

(電気使用量 単位:kwh/%)



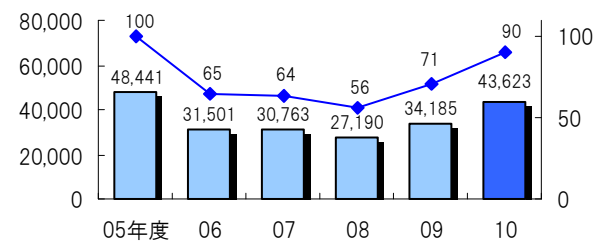
倉庫空調用ガス使用量

取組み

- ・AC温度管理の徹底(定期巡回)

実績

(LPG使用量 単位:m³/%)



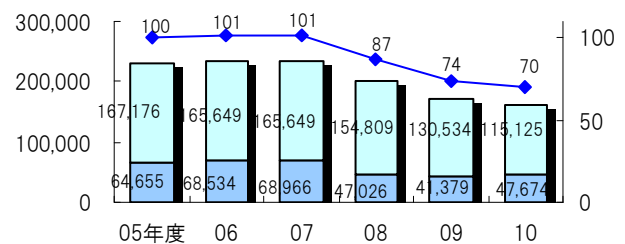
燃料(ガソリン・軽油)使用量

取組み

- ・エコドライブの推進
 - 燃費計測による監視(年間)
 - エコドライブセミナー受講(2010年度30名受講)
- ※いばらきエコドライブ推進協議会主催の実体験セミナー
- ・社用車のハイブリットカー代替推進

実績

(ガソリン・軽油使用量 単位:l/%)



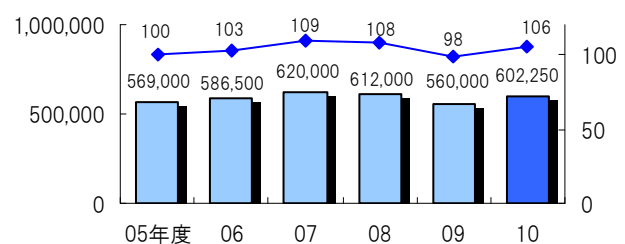
コピー用紙使用量

取組み

- ・ペーパーレス会議
- ・裏面利用
- ・再生紙活用

実績

(コピー用紙使用量 単位:枚/%)



廃棄物発生抑制

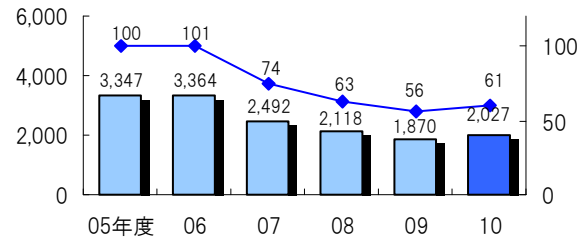
一般廃棄物

取組み

- ・分別の徹底による紙ゴミのリサイクル促進

実績

(一般廃棄物排出量 単位:kg/%)



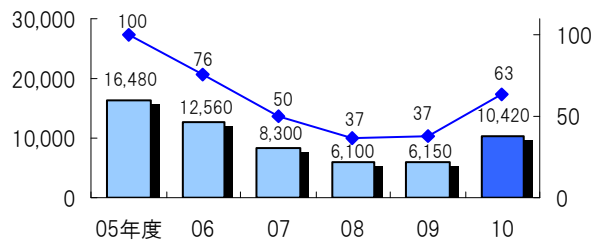
産業廃棄物

取組み

- ・梱包材のメーカー返却の推進

実績

(産業廃棄物排出量 単位:kg/%)



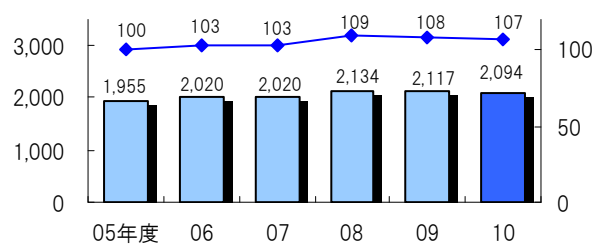
オイルのバルク配送推進

取組み

- ・2002年度バルクオイル配送開始、2009年度には、ローリー車を1台増車し、円滑な供給を促進
- ・2009年6月より省燃費オイルへの切り替え、拡販を推進
- ・2010年8月1台増車、計4台で運行

実績

(バルクオイル販売量 単位:kl/%)

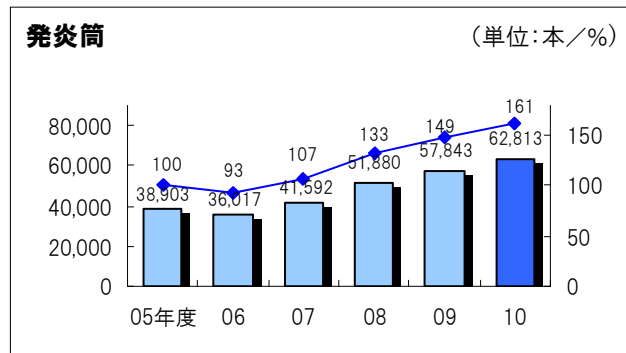
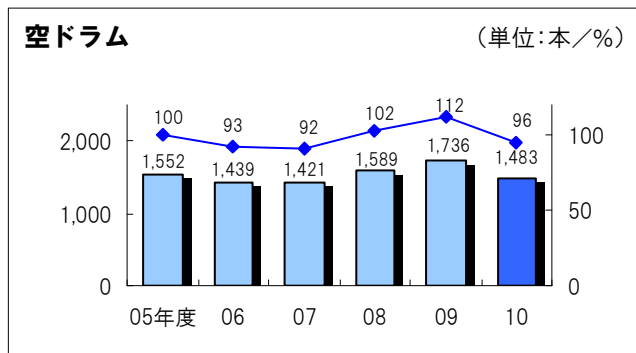
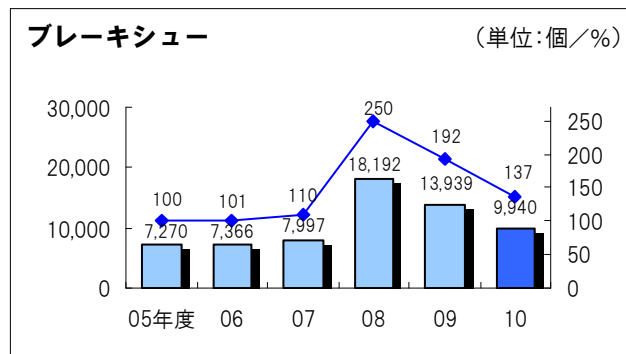
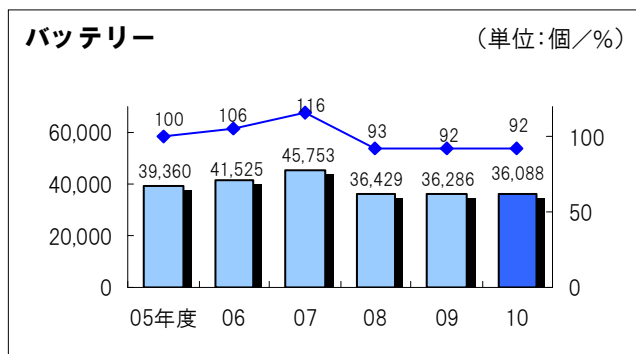
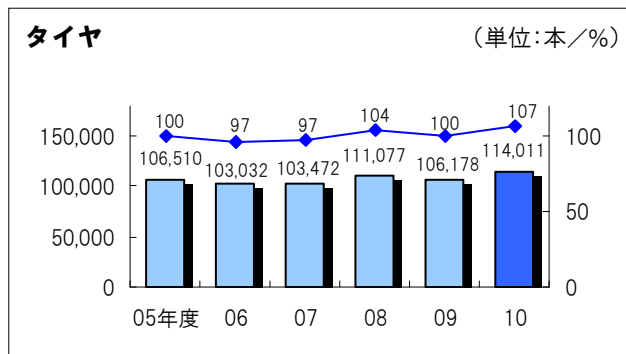
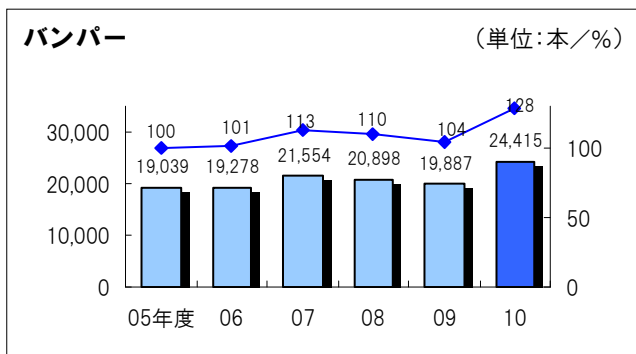


廃棄物発生抑制

■ 実績
— 05年比

使用済部品の回収

取組み トヨタ環境ガイドラインに則り、使用済み部品の回収を適正かつ積極的に行っています。



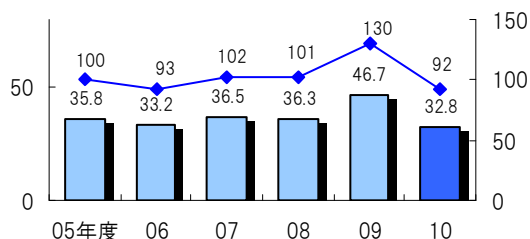
使用済携帯電話の回収 (auショップ下妻)

取組み

店頭回収BOXを設置、来店のお客様に携帯電話リサイクル協力をお願いを行っています。

実績

(使用済携帯電話回収率 単位:%)

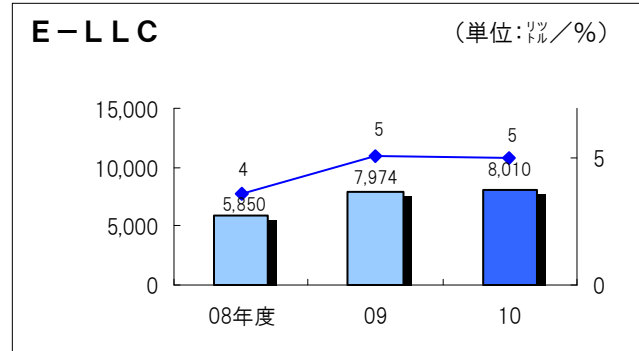
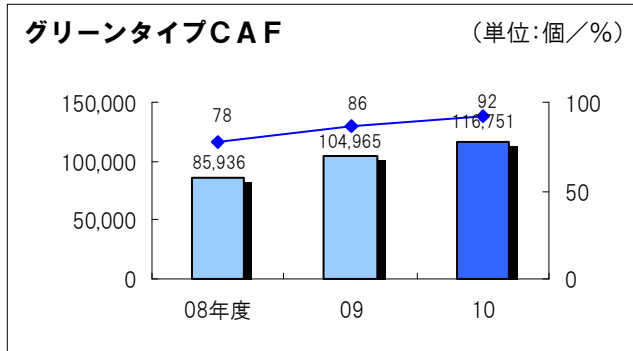
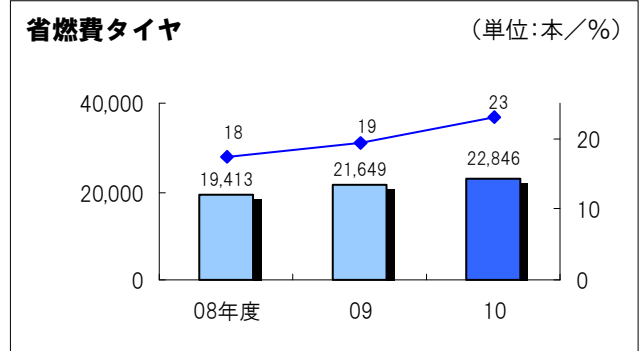
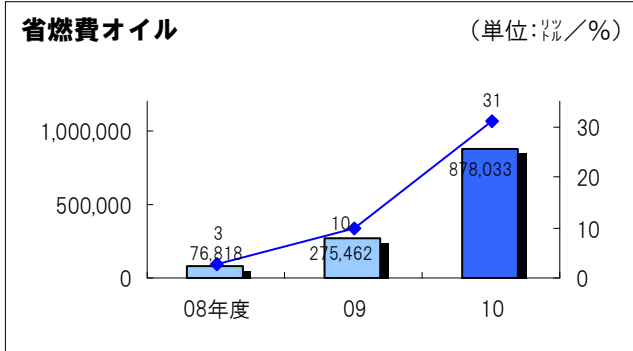


主なエコ商品の販売

■ 実績
◆ エコ商品比率

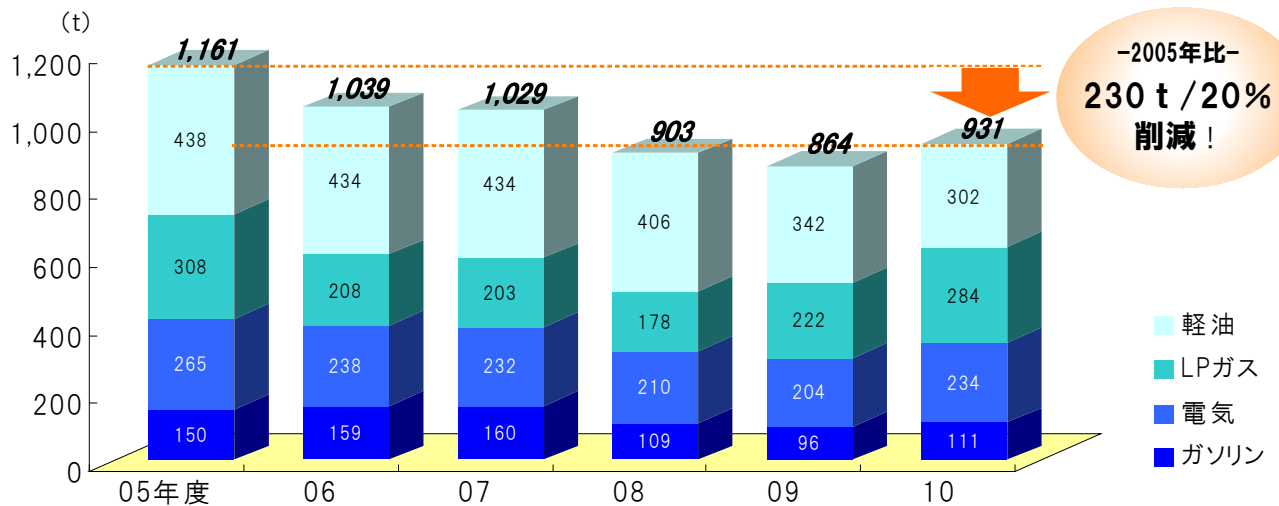
エコ商品の販売

取組み 環境にやさしい商品の拡販に努めています。

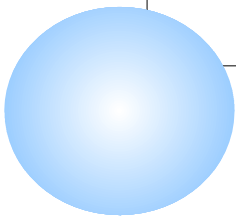
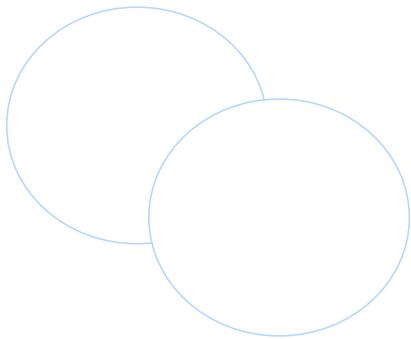
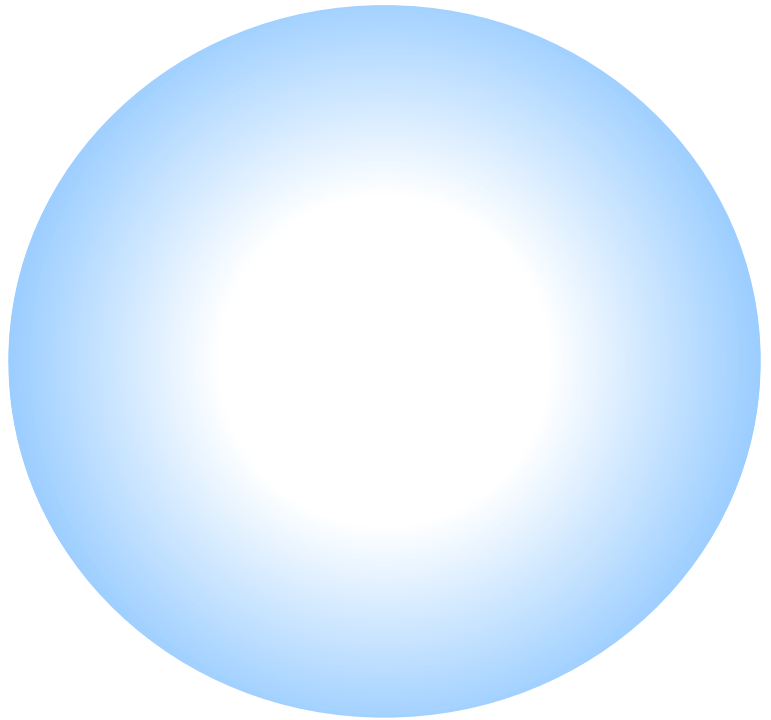


CO2削減効果

CO2排出量の推移



削減量は立木換算で、杉の木 16,420本分の植林に相当します!
(杉の木が1年で平均約14kgのCO2を吸収するものとして換算した場合)



トヨタ部品茨城共販株式会社

〒311-3157
茨城県東茨城郡茨城町小幡702-1
TEL:029-292-2431
FAX:029-291-0591
<http://www.ibaraki-kyohan.jp>

発行部署 総務部 総務・CSRグループ

認証取得



ISO14001
JAER0553